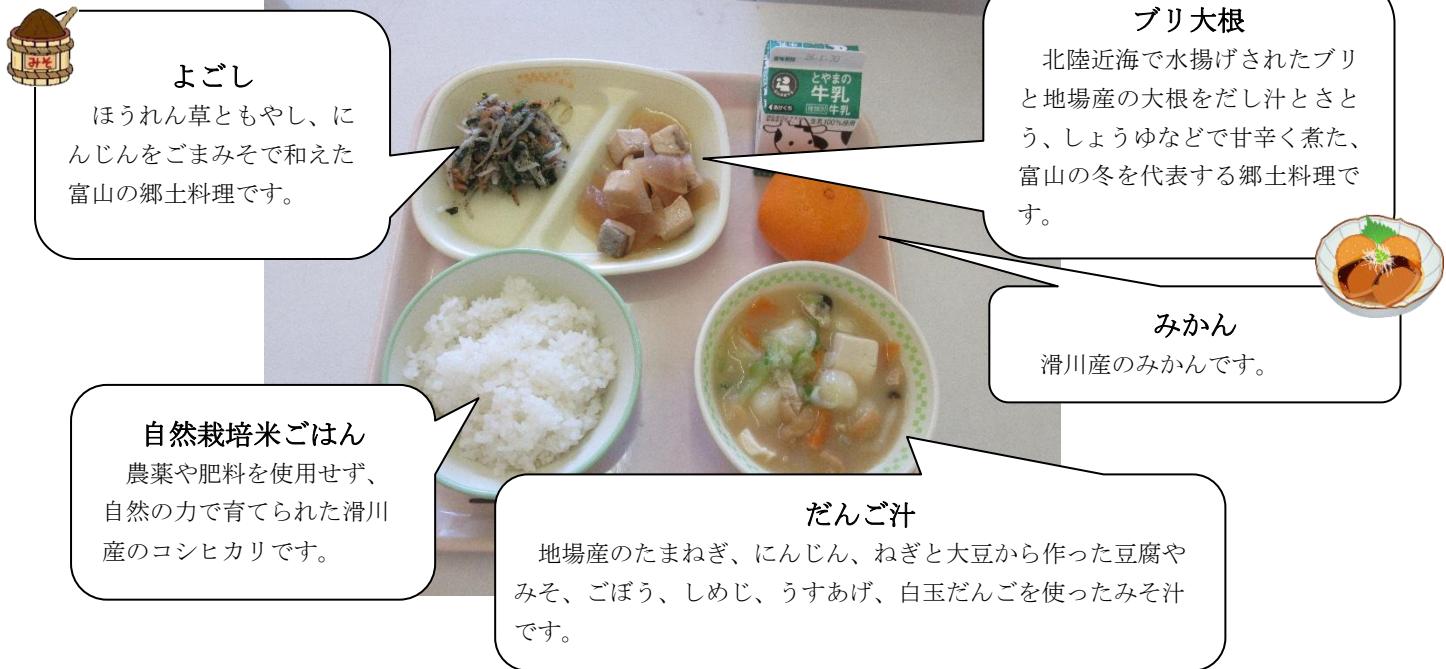


富山の郷土料理「ブリ大根」を味わう給食

富山湾の王者



富山の郷土料理である「ブリ大根」が23日、市内の中学校の給食に登場し、約2700人が旬のブリを味わいました。この日は、ブリ大根の他に、富山の郷土料理のよごしやだんご汁を味わいました。



北加積小学校の児童と柿沢副市長、とやま食の匠の倉本さんらが、北陸近海で水揚げされたブリと地場産の大根を使ったブリ大根をはじめ、富山県の郷土料理を味わいました。

柿沢副市長は、「滑川でとれた食べ物をおいしくいただきましょう」と話されました。また、倉本さんからは、ブリ漁の1日や定置網漁、富山のブリがなぜおいしいのかについて話されました。

児童たちは、「ブリとだしのうま味がしみた大根がおいしかった。」「今年なかなかとれないブリを食べることができてうれしいです。」と感想を話していました。



ブリが食べられてうれしい！

朝の4時半から、ブリ漁に出かけます。

滑川産の食べ物をおいしく食べましょう。

大根にブリやだしのうま味がしみっていて、おいしい。